

令和3年度第1学期始業式式辞

先ず始めに、先ほど本校高等学校への入学を許可した高校1年生の皆さん、入学おめでとう。制服も学校の校舎も変わるわけではありませんが、小学校を合わせた9年間の「義務教育」を終え、今日から高校生となります。「義務教育」とは異なった環境のもと、自覚と責任をもって学校生活に臨んでください。

さて、満開の桜とともに、新しい年度が始まりました。皆さん一人一人が、新たな決意のもと、新年度を迎えてくれたことと思います。そうした皆さんに期待を込めて話したいと思います。

皆さんが抱いている新たな決意は、すべては、君たち自身の自由に任されています。それでは、自由とはどういうことか、自分に任されているとはどういうことか、それは「どんなことであっても他人のせいにできないということ」です。自分の意思に基づき、誰のせいでもなく、今、自分に与えられた時間を責任をもってデザインしてほしい。そうしたデザイン（人生設計）のもとで、授業や部活動などに臨むことで、積極性が生まれます。「毎時間の授業を大切に、受け身ではなく主体的に臨んでほしい」「一人一人がそうなれば、学級の雰囲気はよくなる。自分のことだけではなく、周りを大切に思えば、いい相乗作用が生まれる。それぞれがそうしたクラスにしてほしい。」これが進学校といわれる学校の良さだということを感じて欲しいし、実際に体現して欲しいと思っています。ましてや、まじめに頑張ろうとしている人を軽々しい言動で冷やかしたり、からかったりすることは厳に慎まなければなりません。

20年ほど前のことです。私が勤めた高校にカナダからの男子留学生がいました。あるとき、教室の窓側に座ってつまらなさそうに授業をうけている彼の姿を中庭からみつけました。気になって担任でもない私が、休み時間に彼をよんで「どうした？ つまらないのか？」と聞くと、「彼は日本語があまりわからないので・・・」という答えでした。そんな時は「授業中、寝ないのか？」その問いに対して彼は「自分が寝てしまうとクラスの雰囲気をつぶしてしまうから、絶対に寝ません」その態度に私自身が、たいへん感動したことを今も鮮明に覚えています。留学生である彼は、「クラスの一員、集団の一員」という意味を十分に理解してくれていました。そんな彼は、学校中の人気者であったことは言うまでもありません。

少し話を変えます。昨年11月に「学習時間」や「スマートフォンを操作している時間」を調査する「学習状況調査」を実施しました。その結果、君らが「学習以外の目的でスマートフォンを操作している一日の平均時間が明らかになりました。

一日2時間以上使用している人の割合は、

高Ⅱ：34%、高Ⅰ：36%、中3：38%、中2：71%、中1：32%

一方、一日の使用時間が一時間未満の人の割合は、

高Ⅱ：31%、高Ⅰ：23%、中3：16%、中2：9%、中1：36%
でした。

スマホなどのSNSの利用時間と学力・睡眠時間との関係は、すでに文部科学省でも調査され、「スマホをすることにより、睡眠時間が減少して学力が低下する可能性がある」とされています。

また、スマホやSNSの使用に対して、ストレスを感じているも関わらず、友達とのラインのやりとりを続けたり、既読かどうかがやたら気になってしまっているという若者が多いということも指摘されています。そうした人は知らず知らずのうちに、自分の価値基準よりも人目を気にし、他人の基準を重視してしまっていることになり、心が弱くなってしまっていると言われています。

その一方で、使用時間を一時間以内でやめることができている人は、自分の行動管理がきちんとできる自己抑制力の高い人で、成績も当然伸びている人たちでなのです。ちなみに、ある予備校の調査ではいわゆる難関大学と言われるところに合格した人の、高校3年でのスマホ利用時間が1時間以内という人が68%、30分以内という人は全体の46%でした。

最初に話しましたが、皆さんはこの春休みに新年度を迎えるに当たって、何らかの前向きな決意をしてくれていると思っています。

インド独立の指導者で「独立の父」と称されたガンジーは、「あなたがこの世でみたいと願う変化に、あなた自身がなりなさい」と言っています。

あなたが希望する人生、未来、目標を達成したいのなら、あなたが今、「自分ができることは何なのかを考え、周りのせいだとか、周りに期待していたのでは、いつまでも変わらないかも知れない。周りの人や環境がどうなってほしいかではなく、自分がどうなりたいか」を深く考えて欲しい。日々の過ごし方を少し見直し、考え方を少し変えることで、行動や習慣が変わります。そうすることが夢の実現につながっていくのです。

この春休み、高校棟の各教室では、下校時間まで自学自習に取り組んでいる

人たちがいました。夢の実現に向けて、着実に歩み始めてくれています。うれしい気持ちになりました。

最後に、新型コロナウイルス感染者が明らかに増加してきました。特に変異株というわれる新種のウイルス感染が関西でも増えています。これまで以上に、感染対策をしっかりとって、皆さん一人一人が新たなことに挑んでくれる奈良学園の環境を大切にしていきましょう。